



TITLE:

質疑欄

AUTHOR(S):

CITATION:

質疑欄. 天界 1921, 2(14): 20-20

ISSUE DATE:

1921-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159646>

RIGHT:

質 疑 欄

【一】春分點移動の理由を説明して下さい

(C, M 生)

(答) 春分點の移動は赤道黃道兩方の變位によるのですが兩者變位の原因も又其分量も全く違ひます。

詳しい説明は天體力學によらねばなりません
がざつと云へば(一)赤道面の方向が變るのは剛體力學に於ける廻轉せる獨樂^{ツル}に見る現象と同様です、即ち地球が扁平で赤道の部分がふくれて居るため其部分に働く太陽及月の引力が赤道面を各の軌道面に一致させやうとしますけれど地球が自轉して居るため自轉軸が黃道と或角傾いたまゝ方向を變へるので廻轉せる獨樂の軸を傾けると軸がグル／＼うなつて動くのと同様の現象と言へばよいでせう。

(二)黃道の移動は全く別の原因で他の惑星が黃道と一致せぬ軌道面中を動いて居て其引力が地球に働いて一定の黃道面外に地球を脱出せしめ様とするため現實の黃道が變るのです。(一)(二)の結果黃道と赤道との交點である春分點が移動します。(二)は(一)に比して小さい分量で(一)による移動を「月日歳差」

(二)による分を「惑星歳差」と申しますがざつとした所通俗天文書にある様に不動の黃道に對して赤道が移動するために起るとして大部分は説明せられます。(K, K)

【二】拜啓近時或書物にて「太陽は一年略四億哩宛織女星の方に近つきつゝあり」と記載せるを見候が然りとすれば、期を定めて太陽の附近に表はるゝエンケ彗星やハリー彗星の如きも太陽と同一運動系をなし、一年四億哩の速力にて同じく織女星の方に進みつゝあるものに候哉。御迷惑の至りとは存候も天界の餘白にでも御説明被下候はと誠に難有仕合と存居候初學者のことに候へば何分宜敷願上候早々(C. O.)

(答) 惑星や彗星も皆太陽の周圍をまわり乍ら織女の方へ進行して居るのです(K)

同好會報

○山本幹事 去る十一月十六日、京都の華族會館に招かれ、一場の天文講演を試みたる同氏は、翌晩突如、風邪に冒され、軽い肺炎を發したので、二週間程就床したが、同月末殆んど快癒。

○中村要氏 同氏も十一月二十日頃より

腸チブスの疑ひを以つて入院したが、十二月末退院、但し、脚氣のため、尙數週間自宅療養の筈。

○洛南定期講演 同支部幹事吉田氏の

幹旋により、十二月以後毎月一回、市外伏見町、京町大黒の同氏宅にて天文定期講演を開く。講師は山本助教、題は「太陽系の話」、約五回を以つて終る筈。初回は去十二月十日であつた次は本年、一月十四日(土)午後三時。

○十二月例会 本會の十二月例会は二十日(月)午後七時より、豫告の如く京都大學集會所で開會、山本助教の「星の種類」に關する講話があつた。

○ブレテン發刊 かねての計畫通り、本會觀測部より至急報ブレテン第一號が去る十二月十二日に發刊され、第二號は同十九日に發行された。型は四六版二倍大、全部英文(非賣品)であるが、觀測部員及び特別希望者に配布し、尙、歐米の約五十個所の天文臺に於ける觀測報告と交換の目的を以つて、廣く寄贈された。これは本邦天文學界に於ける唯一の研究報告機關で、我が官民天文學界の活動状況を報ずるものであるから、將來は世界の學界に重きをなすであらう。